

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	安全で快適な道路整備の推進												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	三島市												
計画の目標	駅及び学校周辺の道路を整備することにより、交通事故のない安全で快適な歩行者空間を確保するとともに、既存橋梁を修繕することにより、地震・風水害に対する安全対策を実施する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,049	A	1,042	B	0	C	7	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.66	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	歩道整備済(簡易整備を含む)の道路延長の割合を80%に向上させる 計画延長に占める歩道整備済(簡易整備を含む)道路延長の割合 歩道整備済道路延長 / 計画延長 × 100	26%	40%	80%
2	橋梁長寿命化修繕計画による橋梁の補修実施率を100%にする 橋梁修繕の計画に対する修繕を実施した割合 修繕を実施した橋梁数 / 橋梁長寿命化修繕計画に記載の修繕橋梁数 × 100	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	三島市	直接	三島市	S街路	改築	(都)下土狩文教線	現道拡幅 L=0.57km	三島市						296		-	
		計画86に移行																		
	A01-002	道路	一般	三島市	直接	三島市	市町村道	交安	(2)文教町幸原線	歩道整備 L=0.19km	三島市							222		-
		計画32より移行、計画41に移行																		
	A01-003	道路	一般	三島市	直接	三島市	市町村道	交安	(1)錦田大場線(第2工区)	歩道整備 L=0.22km	三島市							188		-
		計画32より移行、計画41に移行																		
	A01-004	道路	一般	三島市	直接	三島市	市町村道	修繕	(2)徳倉文教線(神川橋)	橋梁修繕 L=0.06km	三島市							34		策定済
	A01-005	道路	一般	三島市	直接	三島市	市町村道	修繕	(その他)川原ヶ谷34号線(島田橋)	橋梁修繕 L=0.02km	三島市							6		策定済
	A01-006	道路	一般	三島市	直接	三島市	市町村道	修繕	(2)小山三軒家線(小山橋)	橋梁修繕 L=0.02km	三島市							10		策定済
	A01-007	道路	一般	三島市	直接	三島市	市町村道	修繕	(2)愛染院祇園線(祇園橋)(74-A10)	橋梁修繕 L=0.03km	三島市							29		策定済

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-008	道路	一般	三島市	直接	三島市	市町村道	修繕	(その他) 沢地48号線(沢地橋)(74-A11)	橋梁修繕 L=0.01km	三島市						5	策定済	
	A01-009	道路	一般	三島市	直接	三島市	市町村道	修繕	(2) 鶴喰中村橋線(中村橋)(74-A12)	橋梁修繕 L=0.05km	三島市							28	策定済
	A01-010	道路	一般	三島市	直接	三島市	市町村道	点検調査	徳倉文教線ほか道路橋点検(74-A13)	橋梁点検 N=340橋	三島市							84	策定中
		計画52に移行																	
	A01-011	道路	一般	三島市	直接	三島市	市町村道	修繕	(2) 初音台山田線(山田橋)(74-A14)	橋梁修繕 L=0.02km	三島市							13	策定済
	A01-012	道路	一般	三島市	直接	三島市	市町村道	修繕	(その他) 川原ヶ谷7号線(愛宕橋)(74-A15)	橋梁修繕 L=0.02km	三島市							12	策定済
	A01-013	道路	一般	三島市	直接	三島市	市町村道	修繕	(1) 徳倉文教線ほか(74-A17)	舗装修繕 L=48.99km	三島市							110	策定済
		計画97に移行																	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-014	道路	一般	三島市	直接	三島市	市町村 道	点検調 査	谷田幸原線ほか大型構造 物点検(74-A18)	ボックスカルバート点検 N=6箇所	三島市						5		策定済
											小計						1,042		
											合計						1,042		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	C01-001	街路	一般	三島市	直接	三島市	S街路	改築	(都)下土狩文教線(74-C2)	引込設備	三島市						7	-		
		街路事業(74-A1)と一体的に電線共同溝引込設備を設置し、安全で快適な歩行者空間を確保する。																		
											小計						7			
											合計						7			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
三島市事後評価審査委員会（副市長及び各部長で構成される審査委員会）により審査を実施し、取りまとめられた原案をもとに、2週間公衆の縦覧に供することにより評価を実施。	令和3年2月
	公表の方法
	評価完了後、市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	(都)下土狩文教線について、平成28年12月に長泉町との行政境から(都)南町文教線までの間の延長約450mの歩道拡幅が完了したことにより、道路利用者の安全性が向上した。 三島市橋梁長寿命化修繕計画の年次計画に基づき、橋梁の修繕工事を実施することで、既設橋梁の延命化が可能となり、また、道路法に基づく定期点検を実施することで、道路利用者の安全性が確保された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	三島市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の維持管理を実施することにより、適切かつ効率的な維持管理に資することになり、維持管理に関するコストの縮減が図られた。
特記事項（今後の方針等）	
駅及び学校周辺の道路を整備することにより、交通事故のない安全で快適な歩行者空間を確保することができることから、さらなる事業推進のため、別の整備計画に移行し事業の完了を目指す。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）	目標値と実績値に差が出た要因	
1	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
	計画延長に占める歩道整備済（簡易整備を含む）道路延長の割合		
	最終目標値	80%	実績値が最終目標値を下回った。目標値を下回った理由としては、要素路線の(都)下土狩文教線、(市)文教町幸原線、(市)錦田大場線が平成29年度から重点事業である別計画に移行したことが要因と推測される。（移行した3路線を含めた平成30年度末の実績値は85%となる）
最終実績値	71%		
2	橋梁修繕の計画に対する修繕を実施した割合		
	最終目標値	100%	最終目標値を達成した。達成した理由としては、道路利用者の安全に関わるものであり、市における重要な施策として、道路のメンテナンスに必要な事業費を確保し、事業を推進したことが大きな要因と推測される。
	最終実績値	100%	

(様式6-1) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

